

# 「嘉瀬川水系河川整備計画（変更原案）」 に対する意見への回答

---

令和7年12月11日

国土交通省 九州地方整備局  
佐賀河川事務所



# いただいたご意見への回答①

No.	意見方法	分類	意見の内容	回答(案)	計画への反映 ①計画に反映する意見 ②計画に含まれている内容 ③参考とする意見
1	説明会	①治水（ハード対策）	小城市は祇園川に接している面積の方が大きいので、嘉瀬川よりも祇園川の方が自分たちの生活に関わっているような気がするが、大雨の時などに嘉瀬川の水位・流量が増えていくと祇園川の流れが悪くなる等、祇園川の方にも影響があるのか。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 嘉瀬川本川の河道掘削及び樹木伐採や遊水地整備を行うことで、洪水時に祇園川との合流点の本川水位が低下するため、結果的に祇園川の水位も低減し小城市に効果があるものと考えています。	②
2	説明会	③維持管理	上流部には戦後造られた老朽化した北山ダムがあるが、その北山ダムに大量の土砂が毎年流れ込んで、今現在数十万トン溜まっていると聞いている。その土砂を取り除けば治水対策・利水対策等、両方に有効じゃないかと思う。 ダム湖上流部から土砂が流れてこないような河川整備をするべき。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 土砂の供給源の特定が難しいところであるが、農水省、森林管理局等関係機関とも連携しながら河川の適切な維持管理に努めてまいります。	③
3	説明会	①治水（ハード対策）	流木が橋梁に引っかかるというのをニュースでよく見るが、橋梁の改築は計画に入っているのか。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 官人橋より上流の佐賀県管理区間において、目標流量を安全に流下できるように3つの橋の改築を予定しています。	②
4	説明会	①治水（ハード対策）	嘉瀬川の有明海沿岸道路の上下流にはヨシや大きな木が生えているが、伐採してしまったら、洪水時には堤防に直接水が当たり危険になるのではないか。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 樹木伐採については、流下能力だけでなく、堤防防護の観点からも伐採範囲を検討のうえ、必要に応じて樹木を保全する等の措置も検討しながら進めてまいります。	③
5	説明会	①治水（ハード対策）	嘉瀬川には旧徳万堰がまだ残っており、洪水時にはうねりを上げ流れている。河川沿いの樹木を残した伐採を行っているが、河道掘削を行うことで、これら樹木が無くなり堤防に対して水当たりが強くなるのではないか。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 河道掘削及び樹木伐採については、流下能力だけでなく、堤防防護の観点からも整備範囲を検討のうえ、必要に応じて樹木を保全する等の措置も検討しながら進めてまいります。	③
6	説明会	①治水（ハード対策）	鉄道橋は桁下が低いのに改築しないのか。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 河川整備の内容は、遊水地整備や鉄道橋改築等、複数の案について経済性や施工性等を比較したうえで選定しております。 鉄道橋改築は社会経済への影響等に鑑みて実施予定はありませんが、今後、気候変動を踏まえたさらなる河川整備の検討を進める中で、必要に応じて検討してまいります。	③
7	説明会	①治水（ハード対策）	内水氾濫が増えている中で、ポンプの増設はないのか。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 今回の河川整備計画変更では、ポンプの増設は含まれていませんが、河道掘削や樹木伐採により嘉瀬川の水位が低減することで、内水が排水しやすくなると考えられるほか、新たに整備予定の遊水地への内水取り込みにより内水被害の軽減を図ります。また、クリークの事前排水や田んぼダム等、流域治水の取組を推進し、関係機関が連携して内水被害の軽減に努めます。	③
8	説明会	⑥気候変動対応関係	整備期間が20年だが、今は雨の量が多くなっているのに、被害が頻発したりしたら、計画はその都度見直すのか。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 河川整備計画については、気候変動による水害、土砂災害、渇水被害の頻発化、激甚化が懸念されているため様々な事象を考慮し、必要がある場合には、適宜見直しを行います。	②

# いただいたご意見に対する回答②

No.	意見方法	分類	意見の内容	回答(案)	計画への反映 ①計画に反映する意見 ②計画に含まれている内容 ③参考とする意見
9	説明会	①治水（ハード対策）	八田江や多布施川の改修は必要ないのか。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 今回の河川整備計画変更は、現行の河川整備計画で目標とする洪水より大きな洪水に対して、嘉瀬川ダムの洪水調節効果が損なわれないよう、洪水調節ルールを変更するために嘉瀬川本川の河川整備を優先しているため、八田江や多布施川の河川改修を位置づけるものではありません。八田江や多布施川においては、堆積土砂の浚渫や河川管理施設の更新等、引き続き適正な維持管理に努めてまいります。	③
10	説明会	①治水（ハード対策）	尼寺地区のかわまち整備で老朽化していたものが新しくなった、感謝している。R5出水でも水位が上がり危機感を覚えた。堤防整備についてよろしく願います。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 尼寺地区の堤防整備について引き続き実施するとともに、官人橋下流の堤防整備についても、今回の整備計画に位置づけており、今後実施する予定としています。	②
11	説明会	⑦その他	整備について、自分がそこに住んでいると考えたうえで今後の整備を行ってほしい。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 引き続き、地域の皆様と合意形成を図りながら河川整備を進めてまいります。	③
12	説明会	①治水（ハード対策）	遊水地の整備は常時水をためる施設なのか。親水性を持たせた整備としてほしい。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 遊水地の整備にあたっては、地域の皆様と十分に合意形成を図りながら進めてまいります。	③
13	説明会	⑦その他	掘削後の土砂を有効活用してほしい。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 河道掘削で発生した土砂は、他の工事へ有効活用できるよう、調整を図ります。	②
14	説明会	②治水（ソフト対策）	自分が住んでいる地区も自主防災組織を作らなければならないと思っているが、近年水害がないため、嘉瀬川が近くにあるのに危機意識を持っている人が少ないため、治水に関する説明会を開催してほしい。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 地域の防災意識向上に向けて出前講座も行っているため、自治会の研修等に合わせて説明会を開催することは可能です。	②
15	説明会	④環境	堤防に生えている植生について、オオキンケイギク（外来種・黄色い花）が八田江や多布施川の土手に生えているので、草刈りを行っているが、外来種は早めにとった方がいいのでは。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 外来種について、在来種への影響を把握するため継続的に監視し、特定外来生物の駆除や啓発活動等必要に応じて対策を実施するとともに、関係機関との情報の共有化を図ってまいります。	②
16	説明会	①治水（ハード対策）	遊水地整備は効果がある対策だと思うので、スピード感を持って取り組んでほしい。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 遊水地整備は本川水位低減に大きく寄与する対策であるため、早期に整備できるよう、地域との合意形成を図りながら事業を進めてまいります。	②
17	説明会	⑤総合的な取組	国県市の境をなくし、早急な対策を実施してほしい。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 嘉瀬川水系流域治水協議会等の枠組みの中で、国県市含む関係機関が連携しながら対策を進めてまいります。	②

# いただいたご意見に対する回答③

No.	意見方法	分類	意見の内容	回答(案)	計画への反映 ①計画に反映する意見 ②計画に含まれている内容 ③参考とする意見
18	説明会	①治水（ハード対策）	今後、洪水被害が最小限にすむように整備をお願いしたい。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 今回の河川整備計画では、河道掘削や樹木伐採、遊水地整備等により洪水時の河川の水位を低減させる対策や堤防の整備等を実施することとしております。 また、整備目標を上回る洪水に対しても社会経済被害を最小化するため、整備手順の工夫や堤防強化の検討、流域治水のさらなる推進を図ります。	②
19	説明会	①治水（ハード対策）	効果的な内水対策もお願いしたい	貴重なご意見いただきありがとうございます。 河道掘削や樹木伐採により嘉瀬川の水位が低減することで、内水が排水しやすくなると考えられるほか、新たに整備予定の遊水地への内水取り込みにより内水被害の軽減を図ります。また、クリークの事前排水や田んぼダム等、流域治水の取組を推進し、関係機関が連携して内水被害の軽減に努めます。	②
20	説明会	⑥気候変動対応関係	地球温暖化なので、今後の治水対策をもっと強化させる必要がある。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 気候変動による影響も踏まえた河川整備基本方針の変更など、今後のさらなる治水対策について、検討を進めてまいります。	②
21	説明会	⑤総合的な取組	近々の課題として、台風・梅雨シーズンにおいては嘉瀬川ダムの貯水率を下げて大量の雨量に対する予防策としてはどうか。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 嘉瀬川ダムにおいては令和2年（2020年）6月から事前放流の運用を開始しています。 今後の被害軽減を図るため、関係機関と連携し、治水・利水の両面から、貯水容量の最大限の活用、弾力的な貯水池の運用管理、事前放流等、効果的な取組を一層推進します。	②
22	説明会	⑤総合的な取組	農業県佐賀において水田を利用した遊水地を整備するのではなく、周辺のため池やクリークを利用した解析をお願いします。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 引き続き、ため池やクリークの事前排水や田んぼダム等、流域治水の取組を推進するとともに、関係機関と連携して効果の分析にも取り組んでまいります。 また、遊水地については、営農されている方々とも十分に合意形成を図りながら調整してまいります。	②
23	説明会	①治水（ハード対策）	鉄道橋の撤去については予定されていないとのことだが、鉄道事業者の意見も踏まえて計画してほしい。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 今回の計画に鉄道橋の撤去は含まれませんが、今後の計画の見直し等により鉄道橋の改築等を行う必要が生じた場合は、地域の社会経済に与える影響が大きいため、鉄道事業者や関係自治体と十分協議します。	③
24	説明会	①治水（ハード対策）	河川の危険工作物の改修計画を立ててほしい。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 河川内に設置された堰、橋梁等の横断工作物については、河川管理上の支障とならないように定められた許可条件に基づき適正に管理されるよう施設管理者に対して適切な指導を行っているところです。	③
25	説明会	①治水（ハード対策）	遊水地を計画されており、その選定地が農地の場合、被害等の補償はあるのでしょうか。またゴミ等も流出すると思いますが、除去等も支払いがあるのでしょうか。浚渫を強く希望する。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 遊水地については、今後地域の皆様と合意形成を図りながら計画してまいります。遊水地内を農地として土地利用する場合は、一定の要件の元で塵芥や土砂の撤去を河川管理者が行うことが可能です。	③

# いただいたご意見に対する回答④

No.	意見方法	分類	意見の内容	回答(案)	計画への反映 ①計画に反映する意見 ②計画に含まれている内容 ③参考とする意見
26	説明会	③維持管理	20年計画とあわせて、維持管理という点で計画的な浚渫を是非お願いしたい。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 定期的な河川巡視・点検や縦横断測量等により河床変動状況（土砂の堆積や河川の浸食（河底の低下））を把握し、必要に応じて対策を行うなど、適切な維持管理に努めます。	②
27	説明会	①治水（ハード対策）	遊水地の整備について、現在でも内水氾濫の常襲地域であるので、ここにさらに水を溜めると農業ができなくなる、人も住めなくなる。住民の合意を得られるように計画をしっかりと住民に伝え、納得を得られるようにしてもらいたい。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 遊水地整備にあたっては、地域との合意形成を図りながら事業を進めてまいりますので、本文にもその旨追記いたします。	①
28	説明会	①治水（ハード対策）	排水対策（ポンプ設置）も検討願いたい。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 今回の河川整備計画変更では、ポンプの増設は含まれていませんが、河道掘削や樹木伐採により嘉瀬川の水位が低減することで、内水が排水しやすくなるとともに、排水時間の確保にもつながるほか、新たに整備予定の遊水地への内水取り込みにより内水被害の軽減を図ります。また、クリークの事前排水や田んぼダム等、流域治水の取組を推進するとともに、関係機関が連携して排水対策に取り組み内水被害の軽減に努めます。	③
29	説明会	⑥気候変動対応関係	近年、線状降水帯の発生等、過去の状況を上回る降雨量が想定されますが、随時計画の見直しも踏まえていただきたい。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 河川整備計画については、気候変動による水害、土砂災害、渇水被害などの水災害の頻発化、激甚化が懸念されているため様々な事象を考慮するとともに、降雨量の変化など、気候変動の状況を注視し必要がある場合には、適宜計画の見直しを行います。 なお、今後も降雨量が増大することが懸念されていることから、河川整備の計画の元となる嘉瀬川水系河川整備基本方針の見直しを進めていきます。	②
30	説明会	⑤総合的な取組	雨水排水対策は市が管理支流で実施されているが、県との連絡調整をしてもらい、田んぼダムなどの検討の必要性があると考えられる。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 内水対策については、田んぼダムやクリークの事前排水等流域治水の取組を関係機関と連携して進めてまいります。	②
31	説明会	③維持管理	目に見える砂がたまっている所を早急に取り除いてほしい。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 定期的な河川巡視・点検や縦横断測量等により河床変動状況（土砂の堆積や河川の浸食（河底の低下））を把握し、必要に応じて対策を行うなど、適切な維持管理に努めます。	②
32	説明会	③維持管理	計画的な浚渫を行って欲しい。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 定期的な河川巡視・点検や縦横断測量等により河床変動状況（土砂の堆積や河川の浸食（河底の低下））を把握し、必要に応じて対策を行うなど、適切な維持管理に努めます。	②
33	説明会	④環境	佐賀県が持つ豊かな自然を守りつつ、水害を防ぐ事は難しいと思いますが、均衡を保ちながら住民が納得できる様な計画を進めていただきたいと思います。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 治水対策の実施にあたっては、専門家や地域のご意見も踏まえ、有明海特有の干潟環境やヨシ原の保全・創出など、近隣環境との調和や河川環境の保全・創出を図り事業を進めまてまいります。	②



# いただいたご意見に対する回答⑤

No.	意見方法	分類	意見の内容	回答(案)	計画への反映 ①計画に反映する意見 ②計画に含まれている内容 ③参考とする意見
34	説明会	⑥気候変動対応関係	気候変動にも柔軟に対応できる計画であって欲しいと思います。時代に合わない長期計画にならない様に。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 河川整備計画については、気候変動による水害、土砂災害、渇水被害などの水災害の頻発化、激甚化が懸念されているため様々な事象を考慮するとともに、降雨量の変化など、気候変動の状況を注視し必要がある場合には、適宜計画の見直しを行います。 なお、今後も降雨量が増大することが懸念されていることから、河川整備の計画の元となる嘉瀬川水系河川整備基本方針の見直しを進めていきます。	②
35	説明会	⑥気候変動対応関係	近年温暖化による影響なのか線状降水帯の発生で、想定できないレベルの降水量となっている。その様な状況で、なぜ治水対策の目標を戦後第2位にしているのか理解できない。治水対策の目標設定（一番重要）を再度見直すべきではないか。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 長期的な治水対策としては、戦後最大の洪水規模を目標として河川整備基本方針を定めているところから、戦後最大の洪水規模に対する整備は、事業量も多く、整備に時間を要することから、着実に整備を進めるための段階的な目標として、今後20年で取り組む内容を河川整備計画として位置づけております。河川整備には時間を要するところではありますが、今後も降雨の状況の変化を踏まえ、リスク管理なども考慮した河川整備を実施するとともに、降雨量の変化など、気候変動の状況を注視し必要がある場合には、適宜計画の見直しを行います。 また、今後も降雨量が増大することが懸念されていることから、嘉瀬川水系河川整備基本方針の見直しを進めていきます。	③
36	説明会	⑥気候変動対応関係	近年の降雨量の増大に対する対策をお願いします。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 河川整備計画については、気候変動による水害、土砂災害、渇水被害などの水災害の頻発化、激甚化が懸念されているため様々な事象を考慮するとともに、降雨量の変化など、気候変動の状況を注視し必要がある場合には、適宜計画の見直しを行います。 なお、今後も降雨量が増大することが懸念されていることから、河川整備の計画の元となる嘉瀬川水系河川整備基本方針の見直しを進めていきます。	②
37	説明会	⑤総合的な取組	今後も流域治水をお願いします。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 引き続き、河川整備を加速するとともに、クリークの事前排水や田んぼダム等、関係機関と連携した流域治水の取組を推進してまいります。	②
38	説明会	⑥気候変動対応関係	近年、想定外の水害が頻繁に起きています。データのみならず、現地の住民の意見を充分に取り入れて欲しい。その上で整備計画の実施を早急に進めていただきたい。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 河川整備にあたっては、今回のように河川整備計画策定時に地域の皆様からのご意見をお聴きするなどして住民の皆様のご意見を取り入れているところです。 また、設計、施工各段階で適宜説明会を開催するなど、地域の皆様との合意形成に向けた情報の共有化、意見交換の場づくりなどによる双方向のコミュニケーションを図りながら事業を進めてまいります。	②
39	説明会	⑤総合的な取組	国、県、市さらに地元自治会との連携、情報提供をぜひお願いしたい。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 流域治水協議会等で国県市など関係機関の連携強化を図るほか防災学習等の出前講座や合同巡視などを通じて、自治会とも連携を強化してまいります。	②

# いただいたご意見に対する回答⑥

No.	意見方法	分類	意見の内容	回答(案)	計画への反映 ①計画に反映する意見 ②計画に含まれている内容 ③参考とする意見
40	説明会	①治水（ハード対策）	内水氾濫対応としてポンプ場の更新を検討願いたい	貴重なご意見いただきありがとうございます。 今回の河川整備計画変更では、ポンプの増設は含まれていませんが、適宜、ポンプ施設の定期点検を図るとともに、必要に応じてオーバーホール等の機械設備の維持・修繕を図ります。 また、河道掘削や樹木伐採により嘉瀬川の水位が低減することで、内水が排水しやすくなると考えられるほか、新たに整備予定の遊水地への内水取り込みにより内水被害の軽減を図るとともに、また関係者のご協力によるクリークの前排水や田んぼダム等、流域治水の取組を推進し、関係機関が連携して内水被害の軽減に努めます。	③
41	説明会	②治水（ソフト対策）	農水省との連携でポンプ場を有効に稼働してほしい。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 現在、佐賀市内の内水被害軽減のため、水門等の連携操作を関係機関一体となり実施しているところですが、ポンプ場の連携・有効活用についても今後検討してまいります。	③
42	説明会	④環境	河畔公園沿いの多布施川の整備をお願いします。水の流れが緩く、汚れているように感じられます。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 河川水質については、「嘉瀬川水系水質保全対策連絡協議会」の関係機関や地域住民等と情報交換を行い、流域全体における水質保全対策の推進に努めます。	②
43	説明会	④環境	遊水地はドッグランとして活用出来る様に作って欲しい。犬と遊べる場所が無い。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 遊水地の整備にあたっては、整備後の土地利用形態も含め地域の皆様や関係機関と十分に合意形成を図りながら進めてまいります。	③
44	説明会	⑥気候変動対応関係	世界の気候変動による災害が目立っているので、出来る限り早急に整備を進めて頂く事が重要だと感じました。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 河川整備計画に位置づけた整備を早急に進めるとともに、気候変動の影響による洪水被害はさらに頻発化・激甚化することが考えられることを踏まえた危機管理対策を実施します。また、今後も降雨量が増大することが懸念されていることから、嘉瀬川水系河川整備基本方針の見直しを進めていきます。	②
45	説明会	①治水（ハード対策）	遊水地が増えることで水害を予防してほしい。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 遊水地整備は本川水位低減に大きく寄与する対策であるため、早期に整備できるよう、地域との合意形成を図りながら事業を進めてまいります。	②

# いただいたご意見に対する回答⑦

No.	意見方法	分類	意見の内容	回答(案)	計画への反映 ①計画に反映する意見 ②計画に含まれている内容 ③参考とする意見
46	説明会	⑦その他	今後も、住民への説明会の開催をお願いします。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 設計、施工各段階で適宜説明会を開催するなど、住民の皆様との合意形成に向けた情報の共有化、意見交換の場づくりなどによるを図るなど双方向のコミュニケーションを図りながら事業を進めてまいります。	②
47	説明会	①治水（ハード対策）	水流域を少し拡張し河川の水量の増加を考える・・・大雨時に水が悠然と流れる形を作ってはどうか。川岸を少しけずるだけでも大水の時に改善するのでは。今の河岸に少し手を加えることで効果が有ると思います。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 今回の整備計画において、河道掘削を実施することとしており、維持管理、河川環境の保全・創出などの観点から掘削方法については工夫してまいります。	②
48	FAX	①治水（ハード対策）	平成3年に嘉瀬川大堰が建設されたが、旧徳万堰は撤去されておらず、増水洪水時にはその残骸により氾濫渦を巻き、右岸堤防を浸食するため、旧徳万堰の完全撤去をしてもらいたい。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 残存する旧徳万堰の基礎部については、水位への影響等を確認のうえ、必要に応じて対応を検討してまいります。	③
49	FAX	①治水（ハード対策）	禅門井樋、水取井樋、旧徳万堰周辺の左岸河川敷を削り大きな遊水地を造築するのも良いと思う。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 今後の治水対策検討の参考とさせていただきます。	③
50	FAX	③維持管理	せっかく改築された井樋が現在は雑草が繁茂し管理が十分でないようだ。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 ご意見にある井樋は水取用水樋管及び禅門樋管と思われます。 これらは河川管理者が所有する施設ではありませんが、河川管理者も合同で定期的に安全点検を実施しているところです。 周辺の除草については、施設管理者に伝え、適正な維持管理を実施するよう河川管理者として引き続き指導してまいります。	②
51	意見箱投函	①治水（ハード対策）	嘉瀬川大堰は平成3年に建設されたが、旧徳万堰は完全撤去されず、増水洪水時にその残骸により渦を巻き氾濫状となり、右岸堤防を浸食している。旧徳万堰の完全撤去をしてもらいたい。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 残存する旧徳万堰の基礎部については、水位への影響等を確認のうえ、必要に応じて対応を検討してまいります。	③



# いただいたご意見に対する回答⑧

No.	意見方法	分類	意見の内容	回答(案)	計画への反映 ①計画に反映する意見 ②計画に含まれている内容 ③参考とする意見
52	意見箱投函	①治水（ハード対策）	現在、徳万地区の堤防は、旧堤部分を削る工事を開始しているが、堤防侵食を防ぐため、コンクリートブロック壁等で強化してほしい。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 堤防の侵食対策については、新しい堤防は施工後、法面の芝の活着状況や堤防の締め固め状況を踏まえるため、一定の期間、旧堤を存置し撤去するため、所定の安全性は確保されているところですが、継続して堤防の状態を監視し、安全性の照査を行ったうえで対策の必要性について検討してまいります。	②
53	意見箱投函	①治水（ハード対策）	旧徳万堰の残骸の完全撤去を望む。その残骸のため、台風や大雨等による増水時に渦を起こし、右岸堤防を侵食している。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 残存する旧徳万堰の基礎部については、水位への影響等を確認のうえ、必要に応じて対応を検討してまいります。	③
54	意見箱投函	①治水（ハード対策）	徳万地区の旧堤防の撤去工事を行っているが、その後の側面をコンクリートブロック壁等での強化を望む。	貴重なご意見いただきありがとうございます。 堤防の侵食対策については、新しい堤防は施工後、法面の芝の活着状況や堤防の締め固め状況を踏まえるため、一定の期間、旧堤を存置し撤去するため、所定の安全性は確保されているところですが、継続して堤防の状態を監視し、安全性の照査を行ったうえで対策の必要性について検討してまいります。	②